

11月29日（水）、3年2組で国語科の努力点公開授業が行われました。

単元は、「絵文字で表そう」です。学校にある特別教室をどんな絵文字で表すかについて話し合います。この話し合い活動を通して、話し合いの目的や役割、話し方・聞き方、話し合いの進め方の大切さを理解させ、自分の言いたいことを整理して話したり、大事なことを聞き取ったりすることができるようにします。

初めに、全体で、話し合いについての様々な確認をしました。一つ目は、目的です。今回の授業では、よりよい絵文字をグループで考えるという目的があります。この目的を確認しないと、話し合いの論点がずれていってしまいます。二つ目は、役割についてです。4人を超える人数での話し合いでは、「司会者」「記録者」「発言者」といった役割が生まれます。この役割を確認しておくことで、話し合いが円滑に進むようになります。三つ目は、話し方・聞き方です。今回の授業では、司会者には話型カードを用意しました。そうすることで、円滑に話し合いが進むようにしました。また、発言者には『賛成』『反対』『付け足し』の札を用意しました。そうすることで、話し手の立場を明確にできるようにしました。



【話し合いについて確認をする様子】



【一生懸命に記録する児童】

次に、話し合いをしました。図工室、図書室、音楽室、体育館の4室についての話し合いで、全ての児童が全ての役割を経験できるように工夫しました。どの児童も、責任感をもって役割を果たす姿を見せました。また、司会進行で困っている友達がいても、同じグループで助け合いながら、話し合いを進めているグループもありました。次第に、児童は話し合いに慣れ、笑顔を見せながら話し合う様子が多く見られました。



【熱心に話し合いをする児童】

最後に、話し合いの振り返りを行いました。教師が、「話し合いをするには、何が大事ですか」と尋ねました。すると、児童から、「役割」や「進め方」などの声が上がりました。しかし、その中で、「プリント」という回答もありました。そこで、教師が、「次に話し合いをするときに、どうしたいのかを考えましょう。ずっとこのようなプリントを読んでやりたいですか」と返しました。すると、多くの児童が口をそろえて「(プリントが)なくてもできるように」と発言しました。

今回は、様々な手立てを講じて円滑な話し合いができるようにしました。そして、この成功体験の結果、児童は、話し合いには「役割」や「進め方」などの大切なことがあることに気が付きました。しかし、それでは児童は育ちません。そこから手立てを減らしていき、最後には自分たちの力で円滑な話し合いができるような児童を育てていきたいです。